

府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・ 府中市障害児福祉計画策定のための調査（案）

障害者福祉団体調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和9年3月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容は、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

記入についてのお願い

1. ご回答はメールでお願い致します。
2. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
3. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
4. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。
5. 問1の団体情報の記載内容に誤りがございましたら、該当箇所を二重線で消しこみ、訂正内容をご記入ください。
6. ご回答はメールに添付して、発信先に返送していただけたら幸いです。

記入が終わった調査票は添付ファイルにて、発信先（府中市福祉保健部障害者福祉課）宛て

11月17日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問等がありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545
FAX 042-368-6126 メール syougai01@city.fuchu.tokyo.jp

貴団体についておたずねします

問1 貴団体の名称、連絡先等についておたずねします。

団体名		
代表者氏名		
事務所等住所		
連絡先	TEL	
	FAX	
	Email	
ホームページ URL		

問2 貴団体の設立年をご記入ください。

西暦

年

問3 貴団体の令和7年9月1日時点の会員数、運営に携わっている人数を記入してください。

会員数

人

運営に携わっている人数

人

問4 貴団体の活動拠点は決まっていますか。(1つに○)

1. 決まっている →問4-1にお答えください
2. 決まっていない →問5へ進む

問4-1 問4で「1. 決まっている」と答えた方におたずねします。

活動拠点はどこですか。具体的にお書きください。

1. 市内施設 名称〔 〕
2. 市外施設
3. その他〔具体的に： 〕

問5 貴団体の運営にかかる経費の収入源は何ですか。次の項目の中から、収入が多いものから順に、 へ番号を記入してください。(それぞれ番号を1つ記入)

最も収入が多いもの	
2番目に収入が多いもの	
3番目に収入が多いもの	

1. 市からの補助金
2. 市以外からの補助金〔具体的に： 〕
3. 寄付金
4. 会員からの会費
5. 事業収入〔具体的に： 〕
6. その他〔具体的に： 〕

問6 貴団体の活動に関わる現在の会員の充足状況についておたずねします。

(1) 現在の会員数は活動を進めるうえで足りていますか。(1つに○)

1. 活動を進めるうえで十分な人数がいる
2. 活動を進めるうえでは問題ないが、やや不足している
3. 会員が不足し、活動に支障が出ている
4. 会員が不足し、活動を継続するか検討している

(2) 今後の会員数の充実について、どのように考えていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 積極的に増やしていきたい | } 問6-1にお答えください |
| 2. 増やしていきたい | |
| 3. 現状を維持していきたい | } 問7へ進む |
| 4. 特に考えていない | |

問6-1 問6(2)で「1. 積極的に増やしていきたい」または「2. 増やしていきたい」と回答された方におたずねします。

貴団体では、会員を増やすために何か取り組みを行っていますか。

(1つに○)

1. 行っている →問6-2にお答えください
2. 行っていない →問7へ進む

問6-2 問6-1で「1. 行っている」と回答された方におたずねします。
貴団体では、どのような取り組みを行っていますか。

(いくつでも○)

1. チラシ・会報
2. 市広報
3. ホームページ
4. SNS
5. その他〔

〕

問7 活動するうえで困っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 事業の企画
2. 運営方法
3. 活動場所の確保
4. 会員の意識
5. 後継者問題
6. 社会の認識
7. ネットワークづくり
8. 行政支援
9. 財政的支援
10. 人的支援
11. その他〔具体的に：
12. 特にない

〕

問8 貴団体ではどのような活動していますか。また、団体の活躍の場としてどのようなことをやってみたいですか。

【活動内容】

--

【やってみたいこと】(いくつでも○)

1. 専門員による就労関係機関との連携強化
2. 当事者とボランティアとのコーディネート機能の強化
3. 障害理解や合理的な配慮（日常生活での心遣い）などの啓発
4. 障害に関するさまざまな情報の提供
5. 当事者や家族などが気軽に交流できる機会の提供
6. 保育所や幼稚園、学校などでの療育指導（訪問支援）の充実
7. 障害児の親の会などの立ち上げや活動の支援
8. 専門員による子育て支援や教育の関係機関との連携強化
9. その他（

）

貴団体の相談支援体制についておたずねします

問9 貴団体では、障害者福祉に関する市の相談体制についてどのようなことを望んでいますか。(いくつでも○)

1. 情報提供の充実
2. 当事者相談の充実
3. 専門の相談員の充実
4. 緊急時の対応の充実
5. 他分野との連携・ネットワークの充実
6. その他〔 〕

問 10 ピアカウンセリング等、障害のある人への相談について、貴団体ではどのようなことができますか。(いくつでも○)

1. 出張しての相談対応
2. ピアカウンセリングの実施
3. 専門機関への相談内容のつなぎ
4. 専門機関への相談者との同行
5. メールやオンラインでの相談対応
6. 専門機関や相談窓口等の情報提供
7. その他（ ）
8. 特にできることはない

合理的配慮等についておたずねします

問 11 合理的配慮がなされていない、差別を感じる場面はどのようなときですか。また、差別等の解消に向け、市と貴団体とともに取り組めることは何ですか。
(いくつでも○)

【合理的配慮がなされていない、差別を感じる場面】

1. 公共施設や交通機関が利用しづらい
2. 差別的な発言をされる
3. 外出時に手助けが必要な時に受けられない
4. 障害に対する周囲の理解がない
5. 病院で医療を受けづらい
6. 情報を得たいとき、配慮されていない
7. コミュニケーションをとりたいときに配慮されていない
8. 働くときに配慮してもらえない
9. 福祉サービスが使いづらい
10. その他（ ）
11. 特にない

【市と貴団体とともに取り組めること】

1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発
2. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
3. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画
6. その他（ ）
7. 特になし

災害時の支援についておたずねします

問 12 震災等の災害の際に、避難や避難生活において、障害のある人への支援として、貴団体ではどのようなことができますか。また、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

【できること】

1. 在宅サービス利用者への安否確認
2. 自宅から避難所までの移動支援
3. 障害のある人の長期的な受け入れ
4. 障害のある人の一時的な受け入れ
5. 避難場所へのヘルパー等職員の派遣
6. 医療機器が必要な方等への非常用電源の提供
7. 非常用食料、衛生用品など物資の一時的提供
8. 検討したことがない
9. その他（ ）

【必要な支援】

1. 在宅サービス利用者への安否確認
2. 自宅から避難所までの移動支援
3. 障害のある人の長期的な受け入れ
4. 障害のある人の一時的な受け入れ
5. 避難場所へのヘルパー等職員の派遣
6. 避難先での医療・治療体制の整備
7. 非常用食料、衛生用品など物資の提供
8. 障害者のための避難訓練の実施
9. 災害時に避難するための地域ぐるみの協力体制
10. 障害に配慮した災害情報などの伝達体制の充実
11. その他（ ）

制度の谷間にある方への支援についておたすねします

※制度の谷間：福祉サービスを利用したいが手帳要件を満たしていない方、難病や慢性疾患のように現行の制度では障害と認められずに福祉サービスを受けられない方等。

問 13 制度の谷間にある人が地域で安心して暮らすため、貴団体としてどのような支援ができると良いと思いますか。(いくつでも○)

1. 障害者が地域で共同生活できる場の提供
2. 日中に障害者を預かるサービスの提供
3. 寝泊りで障害者を預かるサービスの提供
4. 住まいに関する相談や入居支援
5. シェアハウスなど多様な居住の場の提供
6. 福祉サービスの情報提供
7. 市民への障害への理解・啓発活動
8. 移動・外出支援
9. 自立生活のための体験の場の提供
10. 就労に向けた相談
11. 多様な働く場所の確保
12. 仕事を継続するための相談
13. 障害者の仲間づくりへの支援
14. 障害者家族に向けた支援
15. 防犯・災害時の協力
16. その他〔 〕
17. 特になし

地域共生社会づくりに向けた協力意向についておたずねします

問 14 市では、障害に関する知識や障害のある人への理解を広め、お互いの個性を尊重し合い、つながり合い、支え合う地域共生社会を目指しています。地域共生社会の実現に向けて、様々な団体や事業者等との協働が求められていますが、貴団体としてどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 地域の住民や学校に対する福祉の普及啓発（講座や講演会の開催等）
2. 地域の集まりやイベントへの参加
3. ボランティア等の受け入れ
4. 災害時の物資提供や避難所の支援
5. その他（ ）
6. 特になし

問 15 地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほかに、団体として何か協力できることはありますか。(いくつでも○)

1. 福祉サービス等の情報発信
2. 地域内の関係機関とのネットワーク化
3. 障害についての啓発
4. 市で作成しているツールの周知（ちゅうファイル、防災ハンドブックなど）
5. 地域での見守りや困りごとの発見
6. 災害時の安否確認等
7. その他（)
8. 特にない

問 16 貴団体では、活動するうえで、協働が必要だと感じているのは、どのような団体等ですか。(いくつでも○)

1. 障害者福祉団体
2. 障害者福祉団体以外の福祉団体（高齢者福祉や子ども福祉関連など）
3. 福祉分野以外の市民活動団体
4. 民間企業
5. 町会その他の地域団体
6. 行政
7. その他（)
8. 協働が必要な相手は特にない

問 16-1 問 16 で「1.」から「7.」と回答された方におたずねします。
他団体等と協働したい理由は次のどれですか。(いくつでも○)

1. より利用者や地域に貢献していくため
2. 他団体とノウハウ・情報を共有するため
3. 活動の機会や場所を確保するため
4. 協働することに意義があるため
5. 他団体の人材を活用できるため
6. 他団体の資金を活用できるため
7. その他（)

障害福祉施策についておたずねします

問 17 障害のある方を取り巻く現状や身近で感じている課題、府中市に希望することなど、特に気になる点についてご自由にお書きください。記入いただいた内容は、府中市の障害福祉施策を検討するための基礎資料とさせていただきます。（すべてご記入いただく必要はありません。）

	具体的な点があれば（ ）にご記入ください。
1. 障害理解・意識啓発について	（ ）
2. バリアフリーの推進について	（ ）
3. 地域での見守りや支え合いについて	（ ）
4. 障害者福祉団体の活動支援や協働について	（ ）
5. 障害福祉サービス事業所への支援や協働について	（ ）
6. 地域活動及び社会活動への参加促進	（ ）
7. 生涯学習・文化芸術活動・スポーツの機会について	（ ）
8. 就労への支援について	（ ）
9. 障害のある人に対する差別の解消、虐待防止について	（ ）

10. 権利擁護の推進	()
11. 相談支援の充実や意思決定支援について	()
12. 情報提供・コミュニケーション支援について	()
13. 地域生活を支えるサービスや住まい等の充実について	()
14. 安心して生活できる環境づくり	()
15. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて	()
16. 災害時の支援体制や避難所について	()
17. インクルーシブ教育について	()
18. 乳幼児期から学齢期までの切れ目のない支援体制について	()
19. 障害児への通所支援等のサービスについて	()

問 18 市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はありますか。
また、その理由はなんですか。

不足しているサービス

理由等

問 19 府中市の障害のある人の施策に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——— ご協力ありがとうございました ———